

11月臨時議会

新型インフルエンザワクチン 予防接種助成金を予算化

11月30日に臨時議会を招集しました。

ここでは、新型インフルエンザの重症化防止と優先接種対象者等の経済的負担の軽減などを目的に、新たに「予防接種助成金」を予算化することを承認したほか、平成21年※福島県人事委員会勧告にならい、町議会議員の報酬および町長等・教育委員会教育長・職員の給与等に関する条例の一部改正などを可決しました。

11月臨時議会の補正結果

会計名	補正後の予算額（補正額）
一般会計	39億8,692万円（1,137万円）

補正内容

○予防接種助成金	1,137万円
----------	---------



2歳児による「もったいないばあさん」
(保育所「おゆうぎ会」)

優先接種対象者等の 経済的負担を軽減

新型インフルエンザワクチン
1回の接種につき自己負担1,500円

助成の対象者

広野町内に住所を有し、国が設定したワクチンの優先接種対象者等のうち

- ①妊婦
- ②基礎疾患を有する方
- ③幼児（1歳～就学前）
- ④小学校低学年（1年生～3年生）
- ⑤1歳未満の小児の保護者および優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種が受けられない方の保護者等
- ⑥小学校高学年（4年生～6年生）、中学生
- ⑦高校生に相当する年齢の方
- ⑧高齢者（65歳以上）

助成措置の内容

- ①助成対象者のうち、生活保護世帯に属する方および町民税非課税世帯
- ②上記の区分以外の方
1回の接種につき自己負担1,500円を除いた額を2回目まで助成

議会議員・町長等および教育長・町職員 の期末手当および給与等を減額

平成21年10月8日に行われた※福島県人事委員会勧告にならい、議会議員、町長等および教育長に支給する期末手当の支給割合を、6月「100分の145」、12月「100分の160」に改めました。

また、町職員に支給する期末・勤勉手当の支給割合も改め（賛成10・反対1（畑中太子議員）で可決）、6月「100分の195」、12月「100分の210」にしました。

※福島県人事委員会勧告
国および他の地方公共団体の職員の給与ならびに県内民間事業所の従業員の給与水準などについて毎年調査を行い、これらを均衡させる（民間準拠方式）ことを基本とする。



発達障がい児の施設整備 に関する請願書

【要旨】

【請願者】 渡邊幸徳
(広洋台1丁目)

【紹介議員】 塩 史子

障がい者自立支援法が施行され、地域で安心して暮らせる社会の実現が求められています。

障がい者が心身ともに健やかに育成される中で、潜在能力の発揮や向上ができるよう適

切な条件や環境を整え、

地域社会において自立した日常生活を営むことができるよう、18歳未満の発達障がい児童・生徒を対象とした療育相談・指導・援助等が受けられる施設の整備を強く要望します。

を強く要望します。

議員発議で意見書を県に提出

双葉厚生病院と県立大野病院との統合における双葉郡内町村長と県との約束の完全履行を求める意見書

【要旨】

提出者 塩 史子
賛成者 鈴木正範
渡邊正俊

現在、双葉郡において崩壊状態にある救急医療については、政策医療として直接県の責任で実施し、1日も早く充実強化すること。

平成21年4月17日に、県立大野病院と双葉厚生病院の統合を実施する際の前提条件として、

県が双葉郡内町村長と約束した①25人以上の医師を確保する、②病床数については270床を基本とする、③救急医療などの政策医療については、県が責任を持って人的および財政的支援を行なう、との3点の完全履行なくして統合を行なわないこと。

【提出先】

福島県知事

平成17年度町村議会広報全国コンクール「最優秀賞」受賞

「あいら議会だより」に学ぶ

～鹿児島県始良町議会・広報等調査特別委員会視察研修～



視察先であいさつする
中津広報委員長

平成18年に始良町議会広報を視察研修し、そこで学んだことが今日「ひろの議会だより」の原点となりました。以来、「あいら議会だより」に追いつき追い越せ」をスローガンに、広報委員一同、町民の視点に立ち、かつ議事の透明性と町民に親しまれる紙面づくりに努力してきたところです。

このように、町民にとって親しみのある、読みやすい紙面づくりに力を入れ、各家庭が待ち望み、末永く保存していただけるよう、原点に帰り紙面の充実に取り組んでいきます。